



次回のこの欄に登場するのは、あなたかも？
身近なニュース、まちの話題などをお知らせください
☎情報政策課広報係 ☎22-1411 (内線431)

「彦根梨なしのおいしさを、一年中味わってください」

梨の栽培を始めたのは、昭和56年のことです。それまで稲作を中心に農業を営んでいた組合員は、みんな不安でした。手探りで栽培して、やっと収穫にこぎ着けたものの、今度は彦根梨をだれも知らないなかで販売するのが、また大変でした。売れる売れないにかかわらず、毎日約1万個の収穫があるので、何とか売り切らなければなりません。事業所や工場をまわって販売に努めました。そのときから、どこに行っても試食した人は、おいしさに目を丸くしながら買ってくれました。

2、3年もすると、今度はとぶように売れていきました。これも、袋がけをせずに、果実に太陽

彦根なし生産組合 吉田勝己かつみさん(石寺町)
特産彦根なし生産組合 山田重剛じゅうごうさん(石寺町)

をいっぱいあてて育て、完全に熟してから収穫しているからでしょう。ほかの梨とは、甘さが違うと自負しています。

生の彦根梨は8〜9月ごろにしか食べられませんが、一年中味わってもらおうと、彦根梨のワインやジャムを作っています。

彦根梨で作ったワインは、梨の甘みを生かしながら、フレッシュなのごこしで、だれにでも飲みやすいのが特徴です。クリスマスやお正月を、ワインで過ごされるのはいかがでしょうか。

問い合わせ先 J A東びわこ稲枝宮農センター ☎
④3720番 FAX④5944番



▲吉田さん(右)と山田さん

▲すっきりした味わいの白と、甘くて飲みやすいロゼのある梨ワイン(手前は梨とイチジクのジャム)



▲合併50周年記念式典



伊藤さん

「鳥居本の個性を守っていきたい」

鳥居本中学校3年 伊藤沙央里さおりさん(鳥居本町)

鳥居本は50年前まで「鳥居本村」という独立した村だったそうです。鳥居本が彦根市でなかったなんて、初めに聞いたときはとてもびっくりして、ちょっと信じられませんでした。

11月3日に、鳥居本村と彦根市との合併50周年を祝う「彦根市合併50周年記念式典」が鳥居本地区公民館で開催されました。約200人が参加された式典は、太鼓の演奏で始まりました。私は彦根市民憲章を朗読しましたが、たくさん大人の人が参加しているので、とても緊張しました。

また、福祉、医療、教育、スポーツ振興で地域に貢献された4人と、地域防災に貢献した彦根市消防団第

11分団が表彰されました。

午後からの記念事業では、地元の皆さんによる踊り、記念講演や餅まきなどが、にぎやかに行われました。

学校の友達と鳥居本について話すと、みんな山や川など鳥居本の自然を大事にする気持ちが強いのが分かります。保育園から中学校までずっといっしょなので、みんな仲良しなのも自慢です。

佐和山トンネルをくぐって鳥居本に入ると、ちょっと雰囲気が変わるのを感じます。鳥居本の歴史や自然がそう感じさせるのでしょうか。そういう鳥居本の個性を、私たちが大切に守っていききたいと思っています。